

摩周の火山活動解説資料（平成 30 年 5 月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 火口や噴気の状況（図 1～2）

28日から6月1日にかけて現地調査を実施しました。カムイヌプリ（摩周岳）の北側火口壁では、地熱域¹⁾は認められませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を検知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

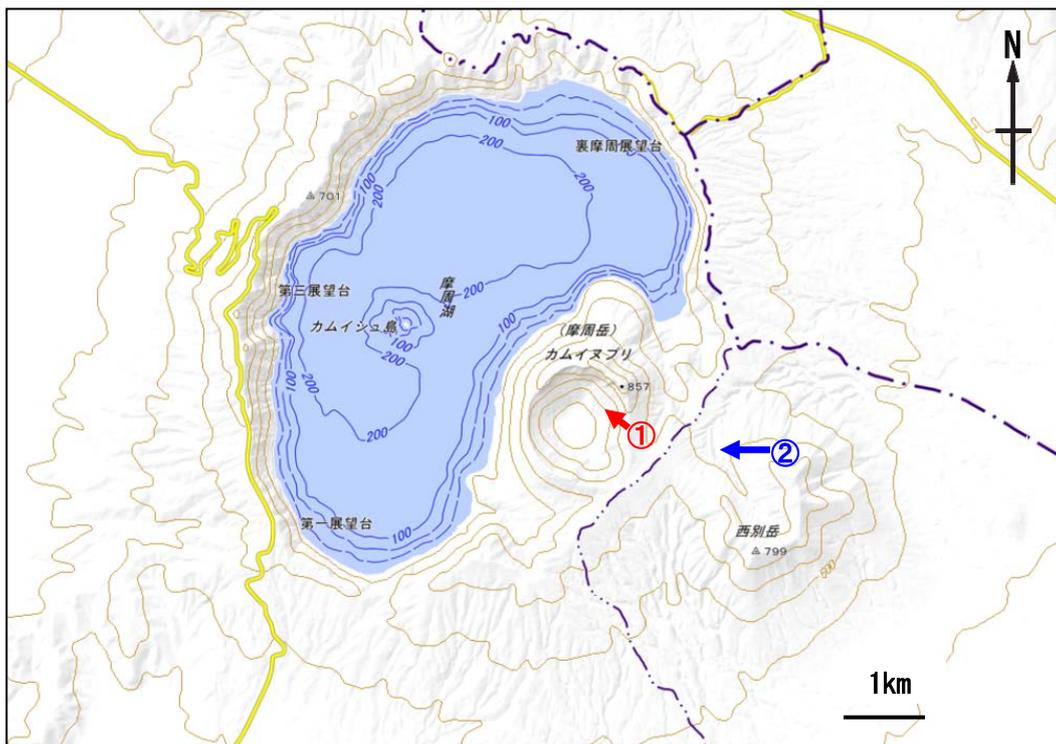


図 1 摩周 周辺図

矢印は赤外熱映像及び写真の撮影方向
①は地上から、②は上空からの撮影

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情複、第 958 号）。

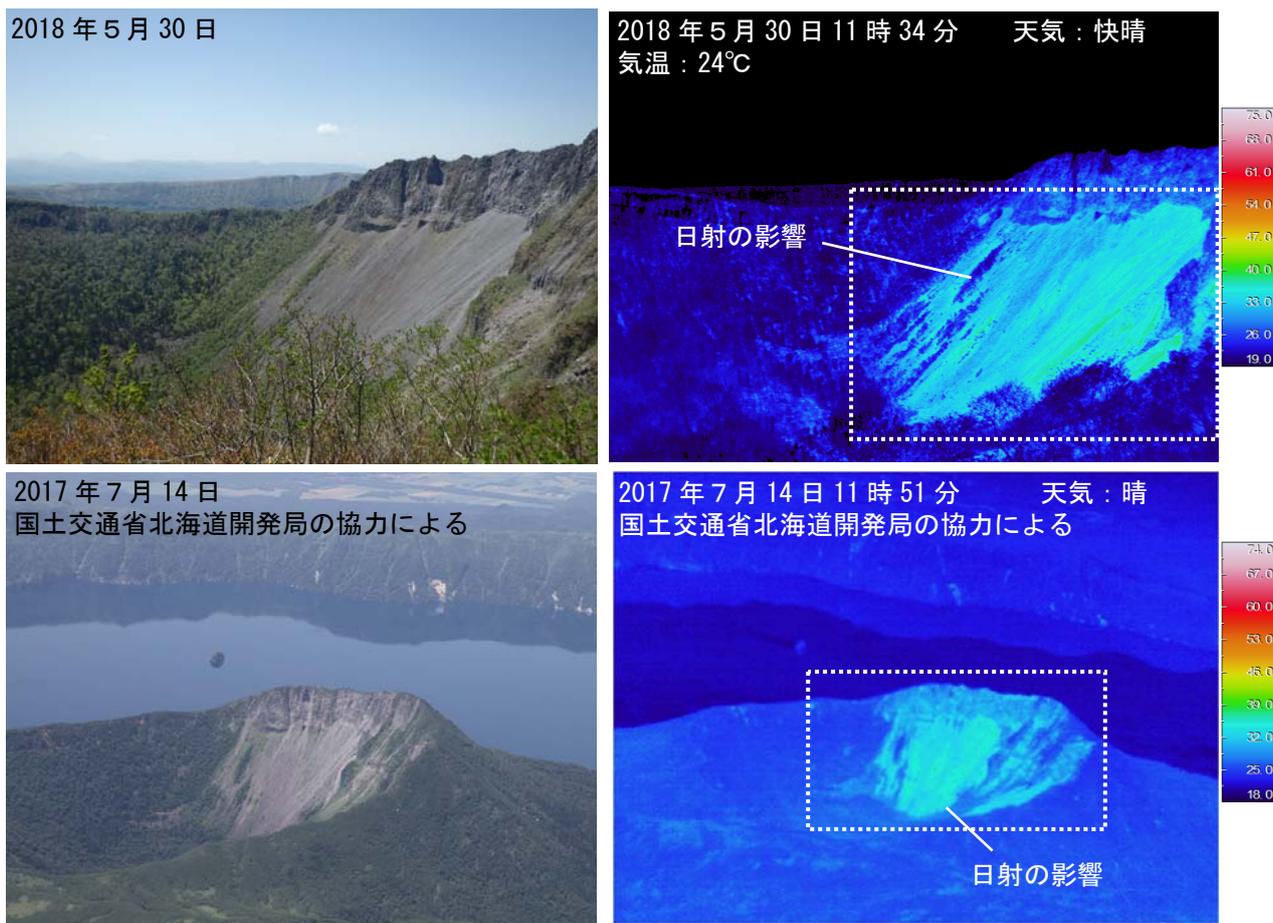


図2 摩周 カムイヌプリの地表面温度分布

上段：南東側（図1の①）からカムイヌプリの北側火口壁を撮影

下段：東側上空（図1の②）からカムイヌプリを撮影

- ・カムイヌプリの北側火口壁では、地熱域は認められませんでした。
- ・図中の点線部は日射の影響によるものです。